

令和3年10月8日

保護者の皆様

福津市立上西郷小学校
校長 児島 由美

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について（お知らせ）

一学期に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果（国語・算数）についてお知らせします。この結果は学力の全てではなく、一部ですが、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。
なお、6年生には個人の結果を示した個票を配付しますが、学力の一部の結果として、お子様の実態をとらえ、家庭で働きかける一つの資料としてお考えください。

国語

【国語の学力の状況】

国語は、全国平均をやや上回っています。特に「読むこと」「話すこと・聞くこと」では、文章全体の構成を捉え、事柄を読み取ったり、資料と文を適切に結びつけてまとめたり、主語と述語の関係を捉える問題はよくできています。一方で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の漢字の問題、要約する問題、詳しく書き直す問題は無回答率が高く課題があります。これは、基本的な漢字の定着ができておらず、目的を意識して書き表すことが原因であると考えます。

算数

【算数の学力の状況】

算数は、全国平均をやや上回っています。特に「数と計算」「測定」では、道のりの求め方と答えを記述する問題、速さを求める式と答えの意味を理解する問題、小数にかけ算したときの問題の理由を説明する問題はよくできています。しかし、三角形の面積の求め方に関する問題、二次元の表に分類する問題に課題が見られました。また、複数の図形を組み合わせた問題の無回答率が高く、図形に関する基礎的な知識と応用の力が十分でないと考えます。

児童質問紙(生活や学習についての意識調査)より

【質問紙より本校児童の良さと課題】

◇家庭学習を1時間以上している子どもの割合が全国よりも高く、家に帰ってからも意欲的に学習に取り組んでいる姿が伺えます。

◆自尊感情の高い子どもの割合が大変低く、学校に来る楽しさや夢や目標をしっかりと持てない児童の割合がやや高いです。

今後の取り組み・ご家庭へのお願い

■学校の取り組み

◆児童質問紙からみえる課題については、児童一人一人に対する個への指導をより一層心がけ、声かけや個別懇談を行い児童理解を確実に行っていきます。また、互いに認め合う学級活動や委員会活動の充実と活動の活性化を行います。

◆国語は、基本的な漢字の定着が不十分であること、自分の考えをまとめて書く力に課題が見られました。そのため自分の考えや感想をまとめ、しっかりと書く活動を設定します。

◆算数は、図形や表をつかった問題に課題があり、自分の苦手とする問題を把握し、繰り返し解くという時間を設定します。

○ご家庭へのお願い

国語は週末課題で出されている国語の読み取ったり書きまとめたりする問題の見守りをお願いいたします。算数はタブレットなどを用いて、これまでの学年の問題に取り組んで学びの振り返りを行いますので、ご家庭ではどこまでできているか把握していただき、お子さまを励ましていただくようお願いいたします。

今後も学校では、全職員で課題を共有し、その課題を解決するために取り組んでいきます。子ども達の心と学力を伸ばしていけるように、これからも学校・家庭・地域が一緒に子ども達の教育にあたっていきたいと思えます。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。